

2014年10月20日 第511号(隔月発行)

アジアの友

The Asia-no Tomo

10-11

OCTOBER-NOVEMBER

2014

データから見る日本への留学生送出し上位国の概況
—中国、韓国、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム、米国—





学校法人 ABK 学館

ABK 学館日本語学校

所在地 〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-12

電話番号 +81-3-6912-0756

FAX +81-3-6912-0757

URL <http://abk.ac.jp>

E-mail info@abk.ac.jp



ABK COLLEGE

2013年4月に完成した新校舎

新築3階建校舎。最新の耐震設計です。

- 留学生の絆が作る日本語学校 -

ABK学館日本語学校（英語名称：ABK COLLEGE）は1957年に設立された公益財団法人アジア学生文化協会が寮生活や日本語を学習した留学生、そして多くの関係者のご寄付と献身的な協力により、学校法人による日本語学校として2014年4月に開校しました。当校には姉妹校のABK日本語コース（公益財団法人アジア学生文化協会）もあり各種協力を行います。



授業風景イメージ



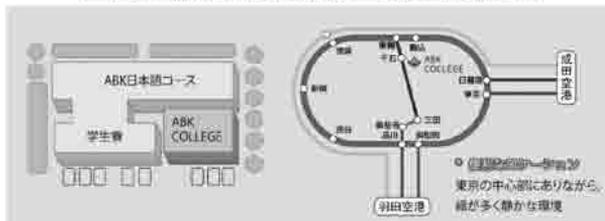
寮の一例



ABK日本語コース

ABK COLLEGE

ABK COLLEGE (学校法人ABK学館ABK学館日本語学校)			
東京都認可日本語課程(大学院・専門学校・語学・文化体験等)			
	4月入学 1年コース	10月入学 1年半コース	4月入学 2年コース
授業時間	860時間	1,290時間	1,720時間
入学検定料	20,000円		
入学金	80,000円		
授業料 (施設・教材費含む)	620,000円	930,000円	1,240,000円
姉妹校 ABK日本語コース(公益財団法人アジア学生文化協会)			
文部科学省指定大学進学準備教育課程			
	4月入学1年コース	10月入学1.5年コース	
授業時間	1,085時間	1,586時間	
入学検定料	20,000円		
入学金	80,000円(大学進学日本語課程) 95,000円(大学進学準備課程)		
授業料 (施設・教材費含む)	720,000円	1,080,000円	
所在地	〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13		URL: http://abk.or.jp
電話	+81-3-6946-2171 FAX: +81-3646-7699		E-mail: n.honcho@abk.or.jp



アジアの友

2014年10 - 11月号 第511号

目次

	巻頭
2	データから見る日本への留学生送出し上位国の概況 —中国、韓国、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム、米国—
	ご紹介
12	大学国際化業務のアウトソーシング業務の可能性 ～当協会で提供する留学生受け入れトータルサービスのご紹介～
	インタビュー
16	ネパールの子供たちのために アチャヤ・ウシャさん
	留学生キッチン
22	① トウロン (フィリピン) リム ジセル グレース フェルナンド
	私の意見私の体験
24	「貧困をなくすために教育を」 韓 綵成 ～韓国
	コラム
26	泰日工業大学 奮闘記 (第8回) 「Facebook を通して見るタイの大学生事情」 藤野 博史
	Event & Festival
28	響きで紡ぐアジアの伝統楽器展 他
	知友会通信
30	奨学金・イベント情報
	MEMBERS
32	ご入会、ご寄付のご報告 (2014年8月、9月)

データから見る 日本への留学生送出し上位国の概況

—中国、韓国、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム、米国—

グローバル化に対応するため政府は2008年に留学生30万人計画を発表し、グローバル戦略展開の一環として2020年を目途に留学生受け入れ30万人を目指している。しかし、留学生総数は2010年の141,774人をピークに下降し2013年は135,519人となっている。2011年の東日本大震災及び原発事故の影響もあるが、一方、日本への留学生の送り出しの多いアジア各国の経済成長に伴う高等教育機関の拡充と留学先の多様化も進んできている。留学生30万人を達成するには、多面的なアプローチが必要となっており、『グローバル30』、『スーパーグローバル30』はじめ政府も様々な施策を実施している。

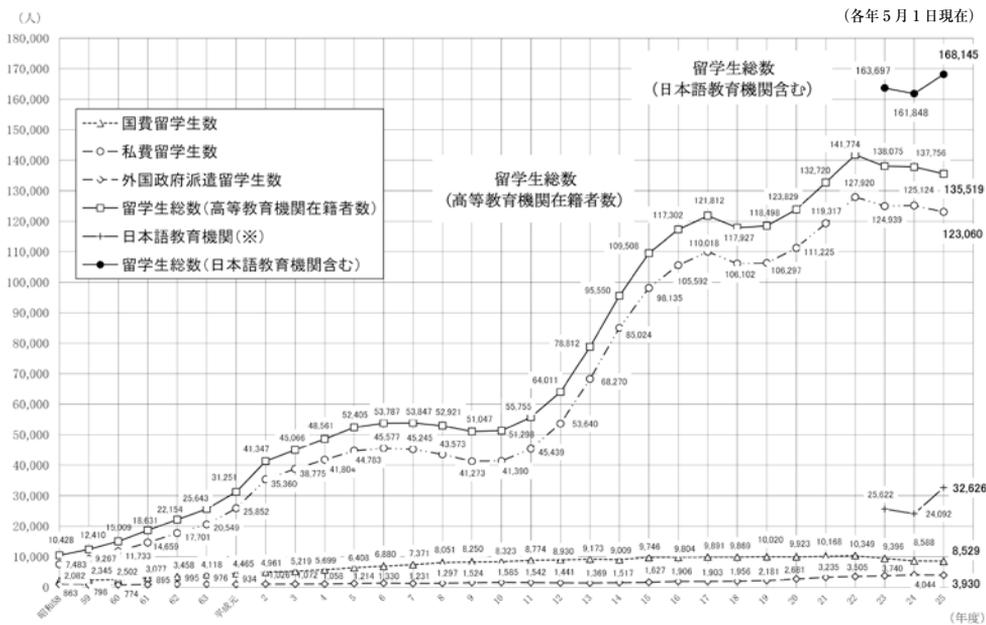
日本国内の18歳人口は2018年以降120万人を割り込む統計が出ている。今後は国内の学生は減少の一途を辿る。そこで、各大学は優秀な人材を海外から、外国人留学生を積極的に受入れる必要性に迫られている。すでに多くの大学が海外に拠点を設置

し、現地での交流・広報・募集活動を推進する動きがみられる。なお、『グローバル30』の取組の一環として、現在7カ国8都市に、日本留学の窓口となる「海外大学共同利用事務所」が設置されている。そして、日本の大学全体の情報の提供や入学説明会の開催、入学審査など、現地での活動を支援するサービスを提供している。平成25年現在、東北大学、筑波大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、九州大学、早稲田大学、立命館大学の8大学が、ロシア、チュニジア、インド(2)、ウズベキスタン、ベトナム、エジプト、ドイツの7カ国8か所に事務所を開設している。

ここでは、株式会社ベネッセコーポレーション並びに公益財団法人アジア学生文化協会が作成した『日本への留学生送り出し上位国の国別留学関連データ』の一部を紹介し、送り出し国の現状をデータで把握し、今後海外からの留学生の受入れを考える資料としたい。(アジアの友編集部)

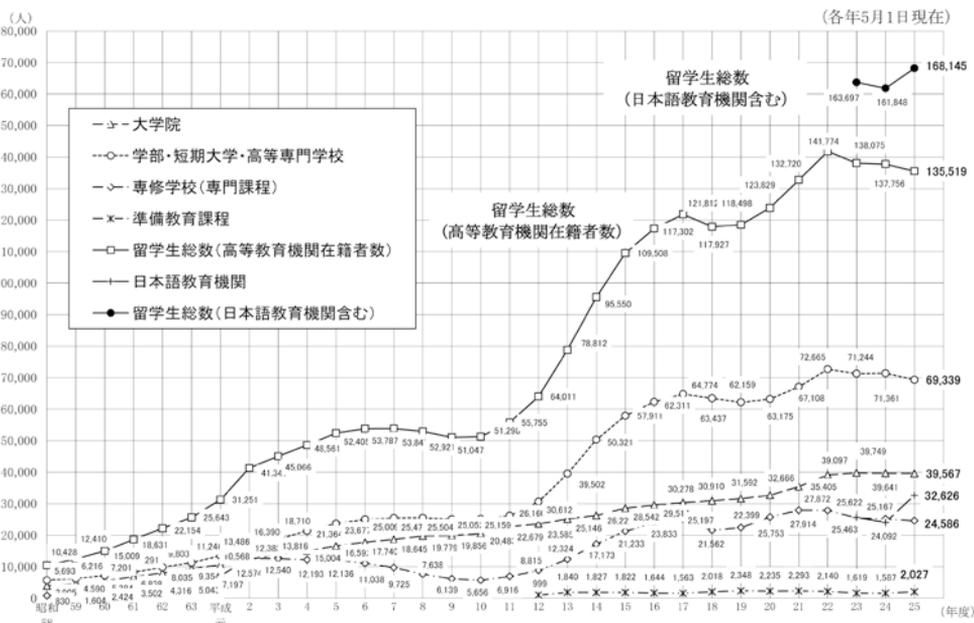
《留学生数の推移》

(出典：JASSO（日本学生支援機構）平成25年度外国人留学生在籍状況調査結果)



《大学院・大学（学部）・短期大学・高等専門学校・専修学校・準備教育課程における留学生数の推移》

(出典：JASSO 平成25年度外国人留学生在籍状況調査結果)



データから見る日本への留学生送出し上位国の概況

《国内の18歳人口の推移》

(出典：JAPAN STUDY SUPPORT 総合パンフレット)

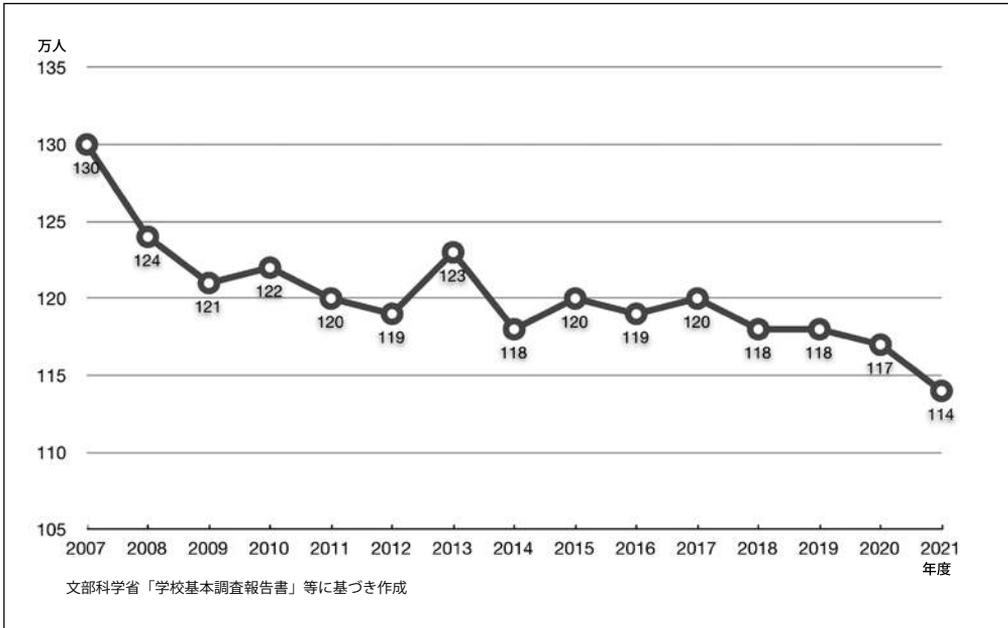


表 A.B. (出典) JASSO (日本学生支援機構)：平成 25 年度外国人留学生在籍状況調査結果より 10 位まで抽出

A. 出身国(地域)別留学生数

No.	国(地域)名	留学生数		構成比	
1	中国	81,884 人	(86,324)	60.4%	(62.7)
2	韓国	15,304 人	(16,651)	11.3%	(12.1)
3	ベトナム	6,290 人	(4,373)	4.6%	(3.2)
4	台湾	4,719 人	(4,617)	3.5%	(3.4)
5	ネパール	3,188 人	(2,451)	2.4%	(1.8)
6	インドネシア	2,410 人	(2,276)	1.8%	(1.7)
7	タイ	2,383 人	(2,167)	1.8%	(1.6)
8	マレーシア	2,293 人	(2,319)	1.7%	(1.7)
9	アメリカ合衆国	2,083 人	(2,133)	1.5%	(1.5)
10	ミャンマー	1,193 人	(1,151)	0.9%	(0.8)

()内は平成 24 年 5 月 1 日現在の数

* 中国と韓国からの留学生を合わせると、全留学生に占める割合は 71.7 (前年度 74.8) %となっている。

B. 出身国（地域）別短期留学生数

No.	国(地域)名	留学生数		構成比	
1	中国	3,719 人	(3,478)	31.70%	(31.2)
2	アメリカ合衆国	1,480 人	(1,409)	12.60%	(12.6)
3	韓国	1,473 人	(1,595)	12.60%	(14.3)
4	台湾	871 人	(823)	7.40%	(7.4)
5	フランス	521 人	(454)	4.40%	(4.1)
6	ドイツ	433 人	(415)	3.70%	(3.7)
7	タイ	345 人	(301)	2.90%	(2.7)
8	英国	325 人	(297)	2.80%	(2.7)
9	オーストラリア	203 人	(223)	1.70%	(2.0)
10	ベトナム	176 人	(158)	1.50%	(1.4)

()内は平成 24 年 5 月 1 日現在の数

*中国、韓国、台湾からの短期留学生を合わせると、51.7（同 52.9）%、アメリカ、フランス、ドイツからの短期留学生を合わせると、20.7（同 20.4）%となっている。

日本留学に関連した国別データ（中国、韓国、ベトナム、台湾、インドネシア、タイ、アメリカ合衆国）

1. ～ 7.（出典）2014 年度外国人留学生受入れ志望動向研究会資料（ABK x Benesse）より

- ① UNESCO(United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization; ユネスコ) ② JASSO
 ③ IMF(International Monetary Fund; 国際通貨基金) ④ UNESCO ⑤ ITU(International

1. 中国

	人数・比率・金額			増減
	2000 年	2010 年	2012 年	2000 年:2012 年
①海外留学生数	140, 639 人	564, 175 人	694, 365 人	494%
②海外留学生に占める 日本留学の割合	20%	15%	12%	-8%
③1 人当たりの GDP	946US\$	4, 423US\$	6, 077US\$	642%
④インターネット普及率	1.8%	34.3%	42.3%	+40.5%
⑤高等教育機関就学率	7.8%	23.3%	26.7%	+18.9%

	2003 年	2009 年	2012 年
⑥日本語学習者数	387, 924 人	827, 171 人	1, 046, 490 人
⑦日本留学試験受験者数	-	-	-

データから見る日本への留学生送出し上位国の概況

2. 韓国

	人数・比率・金額			増減
	2000年	2010年	2012年	2000年:2012年
①海外留学者数	71,011人	126,859人	123,674人	174%
②海外留学者に占める 日本留学の割合	18%	16%	14%	-4%
③1人当たりのGDP	111,347US\$	20,540US\$	22,590US\$	199%
④インターネット普及率	44.7%	83.7%	84.1%	+39.4%
⑤高等教育機関就学率	78.8%	100.9%	98.4%	+19.6%

	2003年	2009年	2012年
⑥日本語学習者数	894,131人	964,014人	840,187人
⑦日本留学試験受験者数	744人	4,363人	2,728人

3. ベトナム

	人数・比率・金額			増減
	2000年	2010年	2012年	2000年:2012年
①海外留学者数	9,144人	47,634人	53,802人	588%
②海外留学者に占める 日本留学の割合	6%	8%	8%	+2%
③1人当たりのGDP	402US\$	1,174US\$	1,752US\$	435%
④インターネット普及率	0.25%	30.7%	39.5%	+39%
⑤高等教育機関就学率	9.3%	22.4%	24.6%	+15.3%

	2003年	2009年	2012年
⑥日本語学習者数	18,029人	44,272人	46,762人
⑦日本留学試験受験者数	125人	357人	187人

4. 台湾

	人数・比率・金額			増減
	2000年	2010年	2012年	2000年:2012年
①海外留学者数	32,815人	33,881人	28,702人	87.4%
②海外留学者に占める 日本留学の割合	6%	10%	10%	+4%
③1人当たりのGDP	14,641US\$	18,488US\$	20,386US\$	139.2%

④インターネット普及率	1.8%	34.3%	42.3%	+47.8%
⑤高等教育機関就学率	-	-	-	-

	2003年	2009年	2012年
⑥日本語学習者数	128,641人	247,641人	232,967人
⑦日本留学試験受験者数	1,196人	1,149人	578人

5. インドネシア

	人数・比率・金額			増減
	2000年	2010年	2012年	2000年:2012年
①海外留学者数	31,101人	34,477人	34,999人	113%
②海外留学者に占める 日本留学の割合	4%	6%	7%	+3%
③1人当たりのGDP	800US\$	2,986US\$	3,590US\$	449%
④インターネット普及率	0.93%	10.92%	15.36%	+14%
⑤高等教育機関就学率	15.1%	24.9%	31.5%	+16.4%

	2003年	2009年	2012年
⑥日本語学習者数	85,221人	716,353人	872,406人
⑦日本留学試験受験者数	760人	628人	1,118人

6. タイ

	人数・比率・金額			増減
	2000年	2010年	2012年	2000年:2012年
①海外留学者数	19,066人	26,286人	24,491人	128%
②海外留学者に占める 日本留学の割合	7%	9%	9%	+2%
③1人当たりのGDP	1,983US\$	4,992US\$	5,390US\$	271.8%
④インターネット普及率	3.7%	22.4%	26.53%	+22.8%
⑤高等教育機関就学率	35.1%	50.0%	51.4%	+16.3%

	2003年	2009年	2012年
⑥日本語学習者数	54,884人	78,802人	129,616人
⑦日本留学試験受験者数	162人	160人	119人

データから見る日本への留學生送出し上位国の概況

7. 米国

	人数・比率・金額			増減
	2000年	2010年	2012年	2000年:2012年
①海外留学者数	40,691人	52,633人	58,133人	143%
②海外留学者に占める 日本留学の割合	3%	5%	4%	+1%
③1人当たりのGDP	35,252US\$	46,811US\$	51,708US\$	147%
④インターネット普及率	43.1%	74.0%	81.0%	+37.9%
⑤高等教育機関就学率	67.9%	93.3%	94.3%	+26.4%

	2003年	2009年	2012年
⑥日本語学習者数	140,200人	141,244人	155,939人
⑦日本留学試験受験者数	-	-	-

日本留学に当たっての情報収集、日本を留学先として選んだ理由、日本留学の目的、日本留学前の苦労等に関するデータ

C. D. E. F (出典) JASSO:平成25年度私費外国人留学生生活実態調査より (「日本留学前の状況」)

C. 留学情報の入手方法 (複数回答設問)

区分	日本留学フェア教育展等に 参加して	入学を希望する学校に直接 問い合わせして	在外日本大使館等の在外公館に 問い合わせして	母国の政府機関に問い合わせ して	日本学生支援機構(JASSO)に 問い合わせして	インターネットを利用して学校 や日本学生支援機構(JASSO)の HPを検索して	その他の民間団体に問い合わせ して	日本の出版物を購入して	母国の学校や教員に相談して	親戚や友人に相談して	その他	不明
平成25年 回答数 (人)	1,262	1,466	219	686	197	2,247	1,053	295	1,802	2,539	230	14
率 (%)	20.7	24.1	3.6	11.3	3.2	36.9	17.3	4.8	29.6	41.7	3.8	0.2
平成23年 率 (%)	27.8	33.2	6.1	18	4.9	32.3	15.1	3.3	21.8	37.8	3.1	0.1
平成21年 率 (%)	19.3	23.5	4.5	11.8	3.2	37.3	16.6	5	30.4	17	2.6	0.4

データから見る日本への留学生送出し上位国の概況

D. 日本を留学先として選んだ理由（複数回答設問）

区分	日本社会に興味があり、日本で生活したかったため	日本の大学の教育、研究が魅力的と思ったため	地理的に近いため	興味ある専門分野があったため	異文化に接したかったため	日本語・日本文化を勉強したかったため	日本と関連のある職業に就きたかったため	奨学金を得られたため	友人、知人、家族等に勧められたため	大学間交流等をきっかけとして	他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合ったため	その他	不明
平成 25 年 回答数 (人)	3,443	2,004	1,260	1,333	1,315	2,744	1,345	263	1,316	369	769	86	3
率 (%)	56.6	32.9	20.7	21.9	21.6	45.1	22.1	4.3	21.6	6.1	12.6	1.4	0.0
平成 23 年率 (%)	56.6	33.9	21	23.1	24.1	49.6	28.5	3.2	23.4	4.5	-	1.9	0.0
平成 21 年率 (%)	53.1	33.2	21.1	25.1	22.3	46.4	29.3	4	26.4	4.7	-	1.0	0.1

E. 留学の目的（複数回答設問）

区分	学位を取得する	教養を身に付ける	就職に必要な技能や知識を身に付ける	日本で働く、もしくは日本企業に就職する	国際的な経験を身につけて、国際的な人脈を作りたい	国際的な考え方を身に付けたい	良い環境で研究を行う	日本語の能力を高めたい	他文化に接する	その他	不明
平成 25 年 回答数 (人)	3,358	1,425	2,430	2,312	1,810	1,766	879	2,150	798	61	3
率 (%)	55.2	23.4	39.9	38.0	29.7	29.0	14.4	35.3	13.1	1.0	0.0
平成 23 年 率 (%)	59.1	26.9	54.4	-	44.8	36.5	15.1	26.5	17.8	1.4	0.1
平成 21 年 率 (%)	54.6	17.5	54.0	-	47.4	33.0	12.4	41.5	21.1	1.0	0.1

F. 留学するまでに特に苦労したこと（複数回答設問）

区分	情報の収集	日本語学習	留学先学校との事前連絡	留学ビザ取得	留学資金準備	入学試験	その他	不明
平成 25 年 回答数 (人)	2,442	3,083	1,330	1,520	2,658	1,466	233	34
率 (%)	40.1	50.7	21.9	25.0	43.7	24.1	3.8	0.6
平成 23 年率 (%)	44.4	49.8	26.0	28.0	49.5	4.4	4.4	0.4
平成 21 年率 (%)	38.3	54.6	23.7	34.5	47.5	2.7	2.7	0.6

留学関連データから見て取れる各国の特色

▶中国

最大の留学生送り出し国である中国の海外留学者数は2012年に約70万人、そのうち日本への留学者は12%の約8.2万人。2011年の東日本大震災、原発事故を境に中国から日本への留学者数は減少傾向にあり、更に、近年の領土問題に端を発して冷え込んだ日中関係も影響して留学生数は減少しているが、日本における留学生数は最も多く、変わらず最重要国である。日本語学習者数も2012年には100万人を超え、日本への留学の高い潜在力を有する。なお、膨大な人口を抱える国であり、国土が広大なため、今後大都市の北京、上海以外の所得の高くなっている地方主要都市も視野にWEBでのアプローチは必須であろう。

▶韓国

アジア圏において韓国は海外への留学生数が10万人を超える比較的大きな留学市場を有している。

日本への留学希望者はここ数年減少傾向にあり2012年約1.7万人。日本語学習者数は約80万人を超える。近年では米国に加え、中国への留学が急増している。一方、1999年に始まったワーキングホリデーの人気は高く毎年発給枠を超える応募者がある(2013年現在10,000人枠)。韓国では近年大学への進学率が90%を越えるため、大学卒業後の留学を希望する学生が多い。

▶ベトナム

近年、日本への留学希望者数が著しく増加していて2013年には日本留学者数は台湾を抜いて第3位に。その背景には、日系企業のベトナム進出に伴う日系企業への就職希望者の増加とそれに伴う日本語学習熱の高まりがある。日本語教育も活発化し、2012年は日本語学習者も4.5万人を超え、急速に増加している。ただ、一人当たりのGDPは1,752US\$とまだ低く、海外への留学に当たっては財政状況に問題がある人が多いのは否めない。

▶台湾

海外留学者数は減少傾向にあるが、日本への留学者比率は比較的安定していて、留学生数は第4位と根強い日本人気がある。また、日本語学習者の数も約23万人と多く、日本留学の送り出し国として重要。一方、2009年に始まったワーキングホリデーの人気は高く発給枠を超える応募者がある(2013年現在2,000人枠)。地理的な近さ、GDP(2012年、20,386US\$)の高さから見ても、今後とも多様な形での留学が見込める。

▶インドネシア

海外留学者数は横ばいだが、日本への留学者数は微増(2012年2.4千人)。ただ、日本語学習者は2012年には87万人を超え、中国に次いで多い国で、日本への留学者は潜在的にある。海外留学者数は約3.5万人

と総人口に比して相対的に少ない。2012年の一人当たりのGDPは3,590US\$と高い経済成長が続いている。日本とは政治・経済・文化面でも良好な関係にあるが、非漢字国で言葉の障壁は無視できない。

▶タイ

政治的には不安定要素が続いているが、安定した経済成長が続き、タイの一人当たりのGDPはASEANではシンガポール、ブルネイ、マレーシアに次いで高く2012年には5,390US\$。中流階層以上の伸びも上昇しているため海外留学志望者は、今後増えてゆくと予測できる。日本語教育機関も充実しており日本語学習者も2012年に約13万人。なお、2012年現在タイからの海外留学が多いのは、1位中国、2位米国、3位イギリス、4位オーストラリア、5位日本となっている。

▶米国

日本留学者数は第9位で、アジア以外では一番多い。なお日本留学は短期留学が中心となっている。1人当たりの

GDPが51,708US\$とアジア諸国と比べ格段に高い数値であり、日本留学の動機は、教育の質的な要素がより重視される傾向にある。

概 括

今後、留学生数を増加させるためには、「日本留学のメリット」を各国に広報し、日本留学を希望する人が、日本留学に関する一連の情報（日本語教育機関、大学、諸費用、諸手続、日本での生活、奨学金、その他）が容易に入手でき、チェックできるようにすることが不可欠である。英語はもちろんのこと、各国語で情報の提供が、必要である。情報提供は①WEB ②留学フェア ③現地の出先機関 ④直接の問い合わせ等々複合的に行う必要がある。更に、留学のための諸手続の簡素化（WEB出願等）、事前の奨学金に関する情報等も重要である。

近年は中国、韓国等も留学生受け入れに力を入れており各国の海外留学先が多様化してきているので、留学前のアプローチは重要になっている。

Japan Study Support

-Information for foreign students- のご案内

留学情報・日本の大学、大学院への留学なら JAPAN STUDY SUPPORT

<http://www.jpss.jp/ja/>

日本語・英語・韓国語・中国語（簡体字）・中国語（繁体字）・ベトナム語・インドネシア語・タイ語

大学国際化業務のアウトソーシング業務の可能性

～当協会が提供する留学生受け入れトータルサービスのご紹介～

さる11月6日の日本経済新聞に大学業務の外部委託に関する記事が掲載されました。記事によると、海外留学相談や、清掃などキャンパス内の実働業務、図書館の管理運営、職員募集などで業務がアウトソーシングされ、それは私立大学のみならず国立大学にも波及しているというものです。

さて、当協会においても国際交流業務のうち留学生受け入れにおいて、長年留学生を受け入れてきた実績を下にトータルに業務を請け負う体制を構築し、サービスを提供することとなりましたので、ここにご紹介します。

留学生の受け入れは、特に海外に対し直接入学許可を出そうとすれば、広報活動に始まり、願書受付・志願処理、在留資格認定証明書交付申請（留学ビザの取得）、入国手続き、宿舎、入国後の行政手続き（在留カード、健康保険等）など、日本人学生とは基本的に異なる、専門的なノウハウが求められる業務となります。

当協会では留学生受け入れのそれぞれのフェーズで、大学での実施が求められる業務（左側フロー）に対し、当協会が提供する支援業務（右側フロー）を設定し、国際化を積極的に進めたいと考える大学等に対し提供いたします。



か。それは今やインターネットをいかに有効活用できるかにかかっていると言えます。「JAPAN STUDY SUPPORT」<http://www.jpss.jp> は当協会が留学生相談業務を行ってきた経験を基に、徹底的に“留学生目線”にこだわって製作された日本留学総合情報サイトです。このポータルサイトで外国人留学生のための入試情報をわかりやすく整理して提供すると同時に、有料掲載

海外広報業務

自校の学校情報をいかに広く周知させる



世界各国の教育制度、大学入学資格統一試験の有効性、外国人学校の認定、中等教育修了証明書の判定など、志願者の学歴が文部科学省の規定する日本の高等教育機関入学資格および各教育機関の出願条件を満たすかどうかを見極めるには、詳細な調査が必要となります。

今後ますます志願者の出身国および学歴構成の多様化が予想されることから、出願資格判定に資する各志願者の学歴調査レポートを提供します。

大学国際化業務のアウトソーシング業務の可能性

校にはアピール力の高い詳細な学校情報を加えて、ユーザーを大学個別の案内（学校公式サイト、学校案内ダウンロード）へと導きます。

学歴・入学資格判定支援業務

志願者の学歴が大学入学資格を満たすかどうかを調査、レポートします。果たしてこの志願者の学歴は「日本の学校教育における12年の課程修了」に相当すると言えるのか。

志願処理支援業務

外国人志願者の出願書類の不備不足を整えて提供します。海外からの直接出願枠を増やし、今以上の外国人留学生数の増加を見込みたい。そのために必要なことは、様々なバックグラウンドを持つ志願者に対応できる願書受け付け体制の構築です。

複雑な学歴判定、書類不備不足の整備、各国現地への外国語での問い合わせなど、通常の願書処理に比べて膨大な手間と高度

業務の流れ





なスキルが要求される願書受付業務に対応すべく、当協会ではこれまで蓄積されたノウハウとデータを駆使し、各大学の募集要項に合わせて願書を整え、出願資格を判定の上、書類審査可能な状態にして提供します。

ら来日する際、合格後から入学に至るまでには、ビザの取得、入国スケジュールの調整、宿舍への入寮対応、空港から滞在先や大学までの道案内など、入学者との様々な連絡作業が発生します。当協会が大学の連絡窓口としてそれらの対応業務を引き受け

在留資格認定申請書作成支援業務

在留資格認定証明書の申請書類作成をサポートします。

渡日前入試など、海外からの直接出願による合格者は在留資格（ビザ）を取得しなければなりません。入国管理局への申請書類の作成やビザ取得に関するアドバイスをを行います。

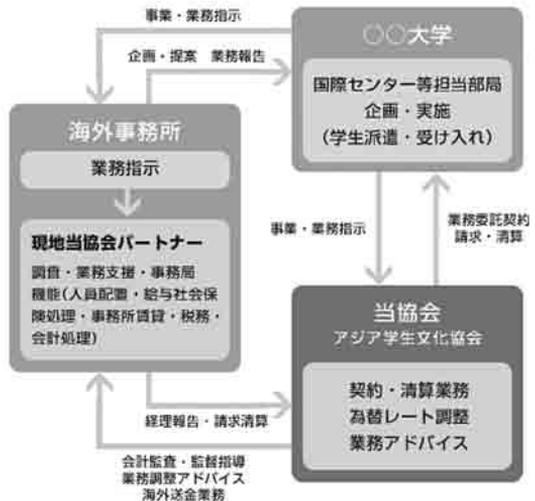
海外拠点設置運営サポート業務

海外拠点設置、拠点運営サポート、海外

エントリーサポート

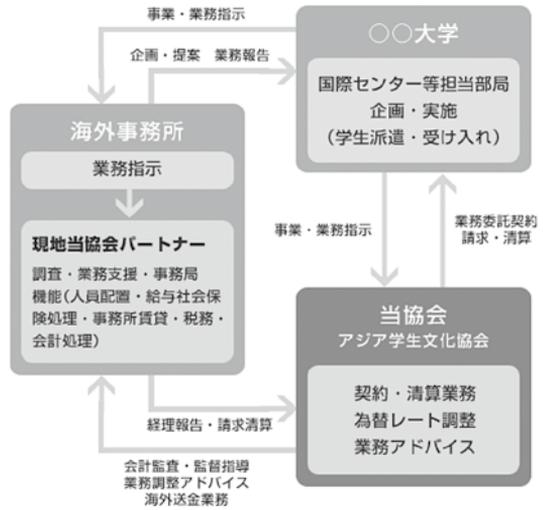
業務学に際しての連絡業務を一貫して引き受けます。（エントリーサポートデスク）

特に渡日前入試で留学生が海外か



広報の立案実施。

学生の留学派遣や現地留学生募集、研究拠点として海外に拠点を設置する大学が増えています。しかし、継続的で有効な活動が実施できるかどうか、各国の法的制限など事前に十分な検討が必要です。当協会では現地事情に精通した信頼できるパートナーとともに、東南アジアにおける海外拠点の設置から運営までのサポートを行っています。また、海外における留学生募集など、大学の海外広報の企画を立案し実施します。



●海外事務所への派遣教員・スタッフが現地での研究・教育活動に集中できるよう、当協会パートナー法人が人員を配置し事務局の事務機能を一括してサポート、下支え致します。

●日本側当協会は、現地で処理された会計書類や業務内容を監査・監督し、為替レートの調整を行い、業務経費の海外送金・清算をするなど、大学側の経理処理方法にあった形式に整え、会計・監督業務を実施します。

●これにより、大学は海外人員雇用とそれに伴う社会保険・税金処理、外貨レート調整が必要となる経理処理等、手間のかかる業務を信頼できるシステムの下で、分離することが出来ます。

以上、関係者の皆様方にご満足いただけるサービスを提供できるよう、スタッフ一丸となってこの新しい業務に取り組んでまいりますので、ご関心をお持ちいただけましたら、まずはお気軽に当協会までご相談ください。



ご連絡先

公益財団法人 アジア学生文化協会

アジア教育交流事業部

Tel 03-3946-7565

E-mail hoshi@abk.or.jp

ネパールの子供たちのために

アチャヤ・ウシャさん (Ms. Acharya Usha) ~ネパール

大妻女子大学大学院 人間文化研究科 人間生活科学選考 修了 (博士)

ネ パールから来日したウシャさんは、およそ8年間日本で留学生活を送り、今年3月に博士号を取得しました。帰国を控えたウシャさんに、ネパールの子供たちの発育に関する研究の成果や日本での生活のことなどをお話いただきました。



日本式教育の幼稚園

私は2001年にネパールの国立トリブバン大学 (Tribhuvan University) の大学院で健康教育学の修士課程を修了した後、大学で非常勤講師をしながら、2002年に開園した日本式幼稚園で園長をしていました。

ネパールの一般の幼稚園というのは、子

供たちが1日中机に座って勉強するという学習塾のようなところなのですが、その幼稚園＝バネバ光幼稚園では日本と同じように子供が遊びながら学ぶ教育方法を取り入れていました。学費は一般のネパールの幼稚園より高めですが、食事も三食ついていて、設備もいいものでした。

「バネバ」という場所は市まではいかな

い規模の町なのですが、バネパ幼稚園はその役場と一緒にモデル幼稚園として作られました。ですから学校関係者が見学に来たり、他の学校の先生の実習を行ったりもして、今では他の幼稚園でもこの日本式教育を取り入れているところがあるそうです。

生徒数は現在50人ほどですが、初めの年は3人しか集まりませんでした。親が遊びに行くのなら家で遊んでも同じではないかと理解を示してくれなかったんですね。でも、開園して1年経って結果が見えてくると徐々に生徒が集まるようになりました。

外国留学の経験がある親は大学の先生をしていることが多いので、私たちスタッフもあちこちの大学に行って、幼稚園の良さを伝えました。結果、彼等の口コミや紹介で光幼稚園の評判が広がっていったんですね。

例えば他のネパールの幼稚園に通っている子は朝行きたくないと泣いたりするのですが、光幼稚園の子供は休みの日も学校に行きたいと言う。ある親は、それを見て自分の子供を光に入れた、と言っていました。ほかの学校の先生たちは勉強を何科目も厳しく教えるのが仕事ですから子供たちと遊ぶ時間はありません。当然子供たちも「先生は嫌い」「学校は嫌い」、という意識を持ってしまいうんですね。

また、光幼稚園では小さい子供の世話をしたり、様々な仕事を当番制でやらせますから、自然とお互いに協力するということ

を学びます。ネパールの社会は親は自分でやらずに子供に「やって、やって」という社会ですから、子供も仕事をするのが嫌になってしまいます。しかし光幼稚園では先生と一緒にやりましょうと子供たちを誘いますから子供たちも喜んで仕事をするようになる。現場にいて、そうした日本の教育のやり方はすごいと思いました。実際うちの息子もこの幼稚園に通っていましたが、従姉妹の子たちとは違いましたね。助け合えるというか、普段から進んで協力できるという感じです。こうしたことは、成長するにつれ、より大きな成果となって現われてきますから、幼稚園での教育は本当に大事だと思います。

日本への留学と発育の研究

私自身、こうした現場で仕事をしているうちに、日本で学んでみたいという気持ちを強く持つようになり、設立者である先生に日本留学のことを相談したんです。すると先生は自分の娘さんが通っていた千葉県の子育学院大学を紹介して下さり、私は2006年にこの大学に留学することになりました。

歴史や文化はもちろん、島国という自分には想像できない地理のことなど、日本への興味は子供の頃から持っていて、高校生の頃には日本に行ってみたくて、留学してみたいと思っていましたから、夢がかなったという感じですね。

留学先の三育学院大学には学部生として入学し1年半日本語を学び、その後千葉大学の大学院で2年間研究生として子供の教育と栄養について学びました。当初はこの2年間で帰国するつもりだったのですが、研究の大切さや楽しさがわかるようになるにつれ、せっかく日本に来れたのだから、できれば博士課程まで進みたいと思うようになっていったんです。

そして千葉大学の先生に大妻女子大学の 大澤清二教授を紹介していただき、2010年、先生のいる人間文化研究科に入学しました。研究テーマは子供の発育で、ネパールには独自の発育標準値がないので、それをどうすれば作れるかというものでした。

ネパールには民族もカーストもたくさんあるので、一つの標準値では評価できません。民族による違いはもちろんですが、同じ民族でもカーストの高低によって骨格は

異なりますし、ネパールには標高100メートル以下のところから8000メートル以上のところまでありますから、住んでいる場所によっても体つきが違ってくるんです。例えばシェルバという民族は5000メートルの地域にまで住んでいます。私はそこまでは行けませんでした。その半分、2500メートルの地域の村まで行って調査を行いました。

そして結局、ネパール人の子供の体格は大きくは3つに分けられる、つまり3つの標準値が必要だということがわかりました。

調査した子供の数は2295人で、それぞれ25項目を測定しました。各村に行き、この日ここに子供たちを集めて欲しいとお願いするんですが、みんなけっこう協力してくれましたね。測定は、身体測定だけでなく、インタビューや片足立ちなどの身体技術測定も行うので、当初は一人1時間く



高地に広がるシェルバ族の村

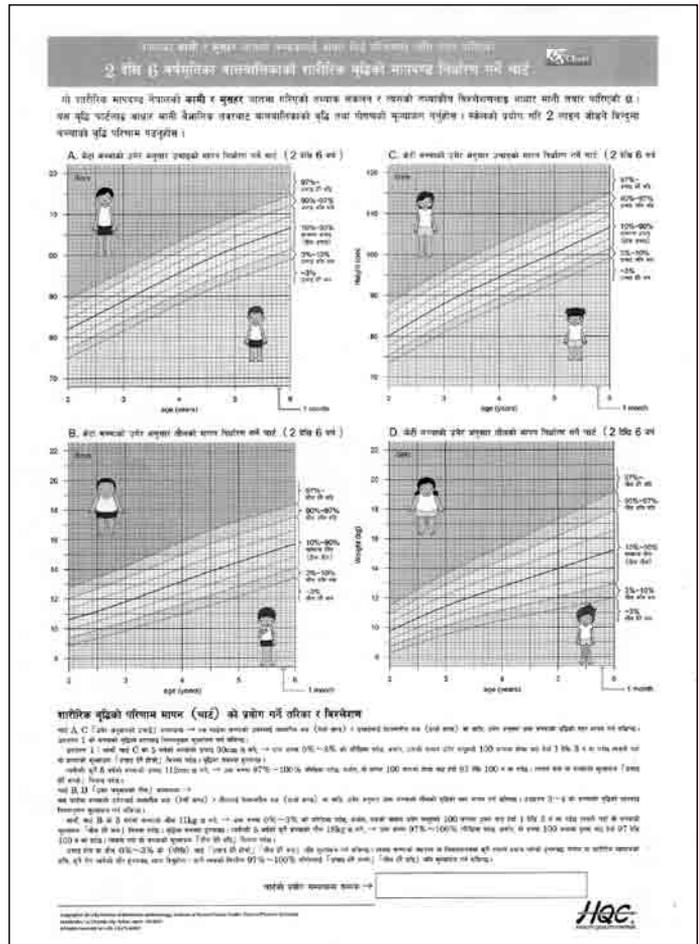
らいわかりました。ですから現地の大学院生にも協力してもらい調査をしました。

また、これは調査の付随効果ですが、実際に各民族やカーストが暮らす現場に行ったので、自分の知らないネパールの状況がわかりました。例えば、民族やカーストによる教育を受けるチャンスの違いについて、教科書ではそういう事実があることを学んでいましたが、現場はどうなっているかということは知りませんでした。ですから今回彼等の家に行って、彼等がどういうものを食べて、どういう生活をしているかということを目の当たりにすることが出来て、

良い勉強になったと思っています。

さらに、ネパールにはたくさんの民族、たくさんのカーストがありますから、お互いに外国人みたいだなということを改めて感じました。共通語はネパール語ですが、民族によって、お年寄りや子供の中には話せない人もいますから、通訳が必要になるんですね。

それに自分がこの民族はこういう人たち



KamiとMusahar カーストの子供から作成した発育標準値 (パイロット版)

じゃないかなと想像していたことも違っていましたね。例えばネパール南部にはインド系の人が住んでいますが、彼等の言語はヒンディー語ですし、北インドから入ってきているということもあり、私たち一般のネパール人は彼等をちょっと怖いと感じています。でも実際に彼等の家に泊まって、調査してみると、本当に協力的でいい人たちでした。それは実際体験しないとわか

ネパールの子供たちのために



カトマンズの小学校 (De Visu)

らないことなんです。

私がこの調査で一番期待しているのは、栄養不良の子供がネパールにはどのくらいいるか、ということがわかるということです。今、外国政府やNGOのネパールへの援助を見ると、きちんとしたデータなしに援助を行っているようです。しかしそうした援助が本当に必要なところまで行き渡っているかという点、それは大いに疑問です。私はできれば、きちんとした標準値を作り、栄養が足りている子供には援助をしなくていいのではないかと思います。

そのデータはカーストごとに作る。今私は上中カーストを一つのグループで作っていますが、その中でも50%以上の子供には援助の必要はありません。本当に必要なのは10%、一番危ないのは3%のグループに入る子供たちです。その子供たちは必ず

援助しないといけないんです。

また子供たちの座高も計りましたが、今各学校で使っている机や椅子はこうした子供たちの体格を無視したものがほとんどです。ある学校では足がぶらぶら宙に浮いた状態で子供たちは1日を過ごしています。将来私の作ったデータを提供すれば各学校で子供のサイズに合うような勉強机、椅子を用意することが出来ると思います。

帰国後は、母校＝トリバン大学の本校で教えながら研究を続けたいと思っています。子供の発育のことをやりたいとは以前から考えていましたが、入学した時はまさか自分で国の標準値を作ることが出来るとは思っていませんでした。私がそれが出来たのは、大澤先生との出会いがあったからです。先生はこれまで30年以上タイの発育

標準値の研究をされており、最近10年はミャンマーについて、そして私が入学してからはネパールのことも一緒に研究しました。先生も自分の跡継ぎだと思って、留学生である私を育ててくれたのだと思います。

ですから、私も自分の研究を引き継いでくれる弟子を育てなければなりません。この研究はネパールにとって新しいことであり、必ず必要なことですから、たとえ給料をもらえなくても、学生に教えたいと思っています。

民族の問題もあり、教員の中には、現状で構わないという人もいます。そういう人の意見を聞くと寂しいと感じることもありますが、実現できなければ今まで自分が日本で努力して学んだ意味がなくなってしまう。ですから、そこは諦めずにがんばりたいと思っています。

留学生にアドバイス！

留学生には、せっかく日本に来ているのだから母国とは違う日本の特別なところを学んで欲しいと思いますね。例えばネパール人と比べて日本人はよく努力をするし、我慢強い。また、ネパール人も親切ですが、日本人はそれとは違う親切さを持っています。それらを母国に持ち帰って生かすことが出来ればいいと思います。

勉学については、日本語で学ぶことは大変だと思いますが、初心を忘れずに自分の目標に向かってしっかりやるのが大事な



と思います。

もちろん日本語は大変です。私は日本人の学生と一緒に研究をしていたのですが、彼等の3倍、4倍は努力していたと思います。実際、来日する前には日本語がそこまで大変だとは思っていませんでした。でも大変であっても、日本語は特別な言葉であり、それ自体学ぶ意味がありますね。ネパール語には日本語ほどたくさんの言葉、表現方法はありませぬ。日本語の持つそうした表現の多様さ素晴らしさをわかっていくと日本語を学ぶこと自体が楽しくなっていきます。楽しめれば多少時間がかかっても苦勞ではありません。

私にとって、日本での勉学生活は本当に意義のある楽しいものでした。

(終)

留学生が紹介する母国のレシピ

留学生キッチン

① トウロン (TURON) (フィリピン風バナナの春巻き)

講師：リム ジセル グレース フェルナンド



材料 (トウロン 12 個分) …バナナ 3 本、春巻きの皮 6 枚、黒砂糖約 60g、水約 100cc、揚げ油 (キャノーラ) 適宜、シナモン・白ゴマ適宜



①ソースを作ります。黒砂糖に水を加え弱火でとろりとするまで煮詰めます



②春巻きの皮を斜め半分 (三角) に切ります



③バナナを 1/4 に切ります。まず横に半分にし、それから縦に半分に切ります



④軽く砂糖をまぶします



⑤三角形に切った春巻きの皮の上に④を置きます



⑥両側を交互にたたまます



⑦巻いていきます



⑧巻き終わりました



⑨温まった油に入れ、中火で5-6分揚げます。途中裏返し、両面がこんがり黄金色になったらお皿に移します



⑩最後に①の黒砂糖ソースをかけ、お好みでシナモンや白ゴマを振りかけます

あまーい極上スイーツの出来上がり。手軽で最高に美味しいフィリピンのおやつを召し上げれ



リム ジセル グレース フェルナンド

フィリピン出身

東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 (博士後期課程)

※フィリピンではクッキングバナナを使用します

ボランティアで触れ合った フィリピンの小学生たちと



ビンの現状は自然と変わるのではないのでしょうか。ですから、貧困問題の底には教育問題が存在しているのだと思います、そうした問題を解決するため、将来は子供たちの未来のために何かをしたい、自分でNGOを作り、子供たちのために働きたいという思いを強く持ちました。

一方で、人々の置かれた現実の状況を今すぐ変えることは出来ません。しかし同じ状況でも、人は気持ちの持ち方次第で周りの見え方を変えることが出来る、毎日を楽しく生きられるようになるはず。そうした面から、将来は心理学なども学び、トータルに人々の置かれた現状を改善するために役立ちたいと思っています。

日韓関係について、両国の関係は慰安婦の問題をはじめとした戦争責任問題のために冷え込んでいます。韓国政府が日本政府の謝罪を求めているのに対して、日本は

以前に河野談話、村山談話で謝罪しており、それでもう十分だと思っている。それが日本政府が考える謝罪であるのなら、韓国政府には、それを受け入れるものではないですかと言いたいですね。一方で、なぜ謝罪を繰り返さないといけないのかという日本の気持ちは十分にわかります。ただ、今のグローバル社会においては何事も世界基準に合わせてそこに従うべきではないかと思うんです。ドイツもすっかり謝って、そこから経済的なブームが始まりました。日本もすっかり謝ることで、今よりもっと盛り上がり始めるはずなのに、自分から孤立の道を歩んでいるのではないかと少し心配です。

私は韓国人ですが日本にお世話になっており、中立的な立場で、互いの国を心配しながら考えています。韓国、日本、そして中国が力を合わせたら、アジアはもっと強くなれます。それができない今の状況は本当にもつたいないと思います

日本にいいなと思うのは、外国人としての私を日本の方が気づかってくれていることです。それはすごくありがたいです。私が拙い日本語で何かを話そうとすると一生懸命聞こうとしてくれる。そういう日本の方々と出会う度に嬉しさが込み上げてきます。

また、私はカフェでアルバイトをしていますが、お客さんの態度にも日本人の優しさを感じます。先日もどなたかわからないのですが、カフェのネットの掲示板に「韓さんがとても親切に接客して

くれた」と書き込んでくれた方がいて、とても嬉しかったです。

もちろん、お客さんの中にはそういう方ばかりではなく、私に対して冷たい態度をとる人もいます。私の日本語の発音を聞いて、急に笑顔を止める人がいた時はとても寂しくなりますね。そういう時は、やはり今の日韓や日中の関係が厳しいからかなと、いろいろ考えてしまいます。

こういう時だからこそ、韓国人には余計に自分が韓国を代表している、自分が韓国のイメージを作っているという責任感を持って日本で生活して欲しいと思います。大学でもアルバイト先でも連絡なしで止めてしまう韓国人がいたりしますが、そうした責任感のない態度が韓国のイメージになってしまいますから、もっと自分の発言や行動には慎重になってほしいと思います。

もっとも私の場合、自分が気付かないうちに、どこかで日韓の関係に影響を与えてしまうのが怖くて、討論になってはつきりした自分の考えを述べられず、逆に「韓国人はみんなそんなに小心者なの？」と、誤解されてしまいうこともあるのです(笑)

共にボランティアに参加した仲間たちと



貧困をなくすために教育を

韓 綵 成 (Mr. HAN ChaeSeong) 韓国

学習院大学経済学部経済学科2年生

私が大学に入学する当時はスマートフォンが起きていたため、周りから「就職しやすいから」と勧められるがままにIT系のソフトウェア学科に入学しました。ところが入って見るとどうしても学問が自分とは合わないんです。1年はがんばってみようとして続けてみましたが、やはり進学する気持ちにはなれず、1年生が終わる頃、休学届を出して兵役で軍隊に行きました。

2年間の軍隊生活では大学での専門を生かして一部隊のパソコンを管理する仕事をしながら、様々な訓練を通して仲間と一つの目標を達成する喜びを学びました。また同時に自分の専攻と将来についてたくさん考えました。もともと、自分の母語以外の言語を学びたかったということ、大学に入学する以前から経済学に興味があったので、言語と経済学を同時に学ぶことができる方法はなんだろうと考え、留学することに決めました。

留学先を日本に決めたのは、韓国と日本の経済成長が似ていたからです。日本は1960年代に、韓国は1980年代に高度経済成長を遂げましたが、成長の進み方も似ていますし、日本がバブルがはじけて不況になったように韓国も今不況に陥っています。そこで、日本が今の不況をどうやっ

て乗り越えようとしているか、政府の政策や国民の努力などを現場で見て学びたいと思ったんです。自分が勉強しなかったのは経済学の中でも社会保障論と社会福祉学なのですが、今は鈴木亘先生のゼミに入り、毎週日本の社会問題についてゼミ生同志で討論をしています。



また、最近ではACC21(※)が主催するNGOリーダー塾の塾生になって、そこで毎週1回、貧困、人権、福祉、環境などについて塾生とディスカッションをしています。それらのおかげで、世界の様々な問題について

の知識が増えました。アジア各地の貧困、環境問題、スコットランドの独立、香港の民主化、イスラム、パキスタン、ウズベキスタンとロシア……。以前は聞いたことがあってもなんとなく見過ごしてきた問題について今は自分の意見を言えるようになりました。

今年の夏休みにはフィリピンに英語留学をしたのですが、そこで現地の小学生と触れ合うためのボランティアに行く機会がありました。私が行ったのは、都心から離れている山の上にある小学校ですが、子供の半分以上が靴をはいていない、素足で歩いているような学校でした。

そんな環境でも子供たちは元気に悲壮感なく学んでいるのですが、彼等がどんなに一生懸命勉強しても、進学できる子はわずかであり、大人になっても就ける仕事は限られます。私は子供たちと接していて、そういう現実をとっても悲しく感じました。もし子供たちが希望するままに、平等に教育の機会を得ることができるのなら、彼等は夢を持つことができ、そしていつか自分の意思で国を変えたいと思うはず。そうならば今のファイリ

バンコクの泰日工業大学で活躍するスタッフ&先生によるリレーエッセイ

泰日工業大学 (TNI) 奮闘記

⑧ Facebook を通して見るタイの大学生事情

藤野 博史

TNIで教えるようになって3年半。今日はFacebookを通して見るタイの大学生事情を書いてみたい。

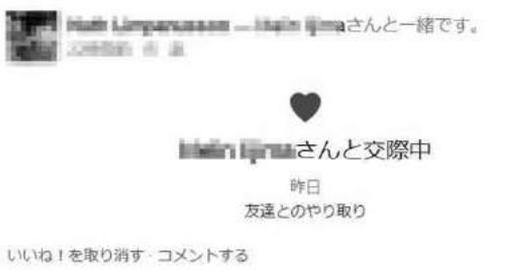
私がFacebookを始めたのは、今から3年前。日本にいる友達に紹介されて、日本にいる友達との連絡用に始めた。学生にはないしょにしていたのだが、名前を見つけた学生がいて、友達リクエストが届いた。軽い気持ちでOKしたら、その後どんどん学生からのリクエストが届きあっという間に友達がタイ人だらけになった。タイでは日本以上にFacebookが普及していて、今ではFacebookを開くとタイ語の投稿がズラリと並ぶ。毎日のように投稿する学生もとても多く、開けるたびに新しい投稿が10件以上たまっていることがほとんど。

どこかに行った写真やちょっとしたつぶやきのほかに、授業登録の前後には自分が登録する時間割が載ったり、テストの前にはノート撮った写真が載ったりもする。長い休み中には日本に行く学生が多いので、日本の写真がやたら多くなる。そしてプライベートなことだけでなく、

学生にテストの日の変更などのお知らせをするのもFacebook。学生からの質問もFacebookのメッセージで届く。プライベートな部分にも公式な部分にもFacebookが使われているのだ。

そして新しく恋人ができて交際宣言するのもFacebook。ある日、普段からよく話している学生の交際宣言が出たのでびっくりした。この学生は男の子で、前からずっと「彼女がほしい」と言い続けていた。そして、「今はあの子がいいと思っています」などという報告してくれていた。でもシャイなのでなかなか話しかけることができず、そのままその恋は終わるということが続いていた。

その学生がいきなりの交際宣言。しかもお相手は今まで一緒にいるところをあまり見たことがない子。さっそくお祝いの「おめでとう!!!」というコメントを送った。同じことを思った友だちも多いようで、コメントが次々と増えていく。この子、とにかく性格がいいので友だちも彼女ができたことを知ってうれしかったようだ。あっという間に返事も含めてコメントが100を



Facebook より

サマープログラムに参加した日本人学生と交流する TNI の学生達



日系企業から奨学金を授与された TNI の学生達



突破。なぜか僕の送った「おめでとう！！」に「いいね」が10個以上。それにしても、付き合うことが決まったらその日に Facebook で報告というのが面白い。

また、先日大阪へ1年間の留学に旅立った学生は、飛行機の時間やチェックインする時間などを細かく Facebook に投稿していた。この学生とは願書を書くときから関わっているし、普段もよく話しているので見送りに行くことにした。0時20分発の飛行機なのに、8時に空港のカウンターに行ったらもうチェックインも済ませていた。

Facebook の投稿を見た友達が次々にやってくる。そしてすることは写真撮影。とにかくカメラが休むひまがないぐらいに次々とポーズを変え、場所を変えて写真を撮りまくる。僕がいた1時間半ぐらいの間だけでも撮った写真は200枚は軽くオーバーしていると思う。そしてこれらの写真はまたまた Facebook に投稿されるのだ。

こんなこと5年前には考えられなかった。でもこれが今では当たり前。果たして、5年後にはどんなことになっているのだろうか。

藤野 博史（ふじの ひろし） 泰日工業大学 教養学部日本語講師。2011年より現職。

Event & Festival

響きで紡ぐ アジア伝統弦楽器展

日本、中国、韓国、インドを中心とした各国、各地域の伝統弦楽器をご紹介します。アジア弦楽器が持つユニークな形状や音色を通じてアジア諸国における文化交流の軌跡をたどります。

- 会期：2014年10月29日(水)～2015年2月4日(水)
- 会場：早稲田大学演劇博物館 1階 六世中村歌右衛門記念特別展示室 (〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 / 東京メトロ東西線「早稲田」駅 (3a または 3b 出口) から徒歩7分、都電荒川線「早稲田」駅から徒歩5分)
- 入場料：無料
- 主催：早稲田大学演劇博物館・演劇映像学連携研究拠点
TEL.03-5286-1829 <http://web.waseda.jp/enpaku/>

2014年日中韓国立博物館合同企画特別展 「東アジアの華 陶磁名品展」

本展覧会は、日本、中国、韓国の3か国の国立博物館が合同で実施する初めての国際共同企画展です。中国は中国国家博物館、韓国は韓国国立中央博物館の所蔵品、日本からは東京国立博物館の所蔵・寄託品、文化庁の所蔵品と、各国15件ずつ、あわせて45件が出品されます。各館の陶磁器コレクションの特徴をふまえて厳選された名品が一堂に会します。

- 会期：2014年11月24日(月・休)まで
- 会場：東京国立博物館 本館特別5室 (JR上野駅公園口・鶯谷駅南口より徒歩10分)
- 開館時間：9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)
- 観覧料金：一般620円(520円)、大学生410円(310円)
* ()内は20名以上の団体料金
- 主催：東京国立博物館、中国国家博物館、韓国国立中央博物館
- お問合せ：03-5777-8600 (ハローダイヤル)

タイ・ナショナルデーフェスティバル2014

タイ料理屋台、雑貨販売、タイ音楽等

- 開催日時：2014年12月6日(土)・7日(日) 10:00～19:00 ※雨天決行
- 入場料：無料
- 会場：代々木公園ケヤキ並木 (JR「原宿」下車 徒歩3分 東京メトロ千代田線「代々木公園」(C02) 下車徒歩3分)

- 主催：NPO 法人アジア子ども教育基金協会
- 問合せ：Tel 090-5563-9930 e-mail bmi@bmi-music.com

第8回タイフェア in 横浜 2014

タイ料理屋台、雑貨販売、アーティストパフォーマンス等

- 開催日時：2014年12月13日(土)・14日(日) 10:00～19:00 ※雨天決行
- 入場料：無料
- 会場：山下公園 (JR「石川町」下車 徒歩10分、「関内」下車15分、地下鉄みなとみらい線「元町・中華街」下車 徒歩3分、横浜市営地下鉄「関内」下車15分)
- 主催：NPO 法人アジア子ども教育基金協会
- 問い合わせ：Tel 090-5563-9930 e-mail bmi@bmi-music.com

BOOK

「タイにおけるものづくり教育とクリサダー学長 ～泰日工業大学 (TNI) での技術移転実践論」

平成26年春の叙勲発令で旭日中綬章を受賞した泰日工業大学 (TNI) のクリサダー・ヴィサワティラーノン学長の、これまでの歩みを辿った一冊。日本留学時代の思い出や、ものづくり教育への熱い思い、TNIの教育方針とこれまでの成果などが、たくさんの写真および資料とともにインタビュー形式で収められている。

発行：泰日工業大学 (TNI)





奨学金情報

高久国際奨学財団外国人奨学生

- 対象：①外国の国籍を有し在留資格「留学」の学生。②2015年4月時点で日本の大学院博士課程在籍（学部生、修士課程不可）③他の奨学金・助成金等を受けていないこと。④東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県在住の学生。⑤日本語能力試験1級に準ずる会話力及び文章力を有する学生。⑥健康であること。⑦国際理解と親善に関心を持ち、貢献を意図する学生。⑧月例会に必ず出席できる学生。⑨月末に400字のレポートを必ず提出できる学生。

- 給付金額：月額7万円
- 給付期間：2015年4月から1年間
- 採用人数：4名以内
- 応募方法：申込書（ホームページからダウンロード可）と必要書類を主催団体に郵送。
- 募集期間：11月1日～30日
- 主催団体：一般財団法人 高久国際奨学財団
東京都港区西麻布4-17-4
E-mail info@takaku-foundation.com
URL http://www.takaku-foundation.com/

東華教育文化交流財団奨学生

- 対象：2015年4月1日現在、日本の大学（学部3・4年生）もしくは大学院に在（入）学する私費中国人留学生（台湾、香港、マカオ出身者を含む）で、留学生活上経済的援助を必要とする認められ、学力優秀で身体健康な者。月額2万円を超える他の奨学金との併給不可。
- 給付金額（月額）：10万円
- 給付期間：2015年4月から1年以内
- 新規採用：10名

- 応募方法：主催団体まで応募書類を郵送する。募集要項・申込書類は主催団体ホームページからダウンロード可能
- 応募期間：11月1日～20日
- 主催団体：公益財団法人東華教育文化交流財団
東京都中央区銀座八丁目2番12号
☎03-3571-7613
E-mail info@donghua.or.jp
URL http://www.donghua.or.jp

ほんじょうこくさいしょうがくざいだんがいくしんりゅうがくせいしょうがくせん

■ 本庄国際奨学財団外国人留学生奨学金

●**対象**：①日本の大学院に留学する日本国籍を
持たない学生のうち、学業、人物ともに優れ
ながら経済的理由により援助が必要と認めら
れる者。②2015年4月以降に在籍してい
るまたは入学が許可されており、在籍証明書、
合格証明書、入学許可書等、入学の内定を証明
できる書類のいずれかを提出できる者。③
博士課程在籍者は、1979年3月31日以降
に生まれた者、修士課程在籍者は1984年3
月31日以降に生まれた者。④大学院修了後、
母国において勤務することを確約できる者。(将
来母国において仕事をする意思を持つ者。)⑤
国際親善や交流に理解をもち、財団で行う行事
や同窓生ネットワークに積極的に参加または協
力できる者。⑥日本語の日常会話ができる者。

●**給付金額**：(1)月額20万円を1年間～2

年間 (2)月額18万円を3年間 (3)月額
15万円を4～5年間 (いずれも最終目標と
する学位取得までの最短期間とし、本人が選択
できる。各コースにおいて支給が終了したあと
の延長、または支給開始後のコースの変更はで
きない。)

●**給付期間**：2015年4月から

●**採用人数**：15～20名

●**応募方法**：主催団体ホームページにある応募
フォームに入力する

●**募集締切**：11月30日

●**主催団体**：公益財団法人 本庄国際奨学財団

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-14-9

☎ (03) 3468-2214

E-mail info@hisf.or.jp

URL http://www.hisf.or.jp

イベント情報

日本に暮らす外国人のための 多言語無料専門家相談会

困っていること、不安なこと、在留資格、ビザ、国際結婚・離婚、事故、仕事の問題、税金、年金、
健康保険、DVなどを専門家に相談できます。遠くにお住まいの方も Skype で相談できます。(「npocinga」
まで事前にアクセスしてください)

●**参加専門家**：弁護士、臨床心理士、行政書士、社会保険労務士、労働相談員など

●**通訳**：英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語、ルーマニア語。ほかの言葉
は前もって相談してください

●**日時**：12月21日(日) 13:00～15:30

●**場所**：東京都健康プラザハイジア 11F (東京都新宿区歌舞伎町2丁目44番1号/新宿駅東口徒歩7分、
西武新宿駅北口から徒歩2分)

●**予約・問合せ**：☎ 0422-33-1335 e-mail info@cinga.or.jp

●**主催**：NPO 法人国際活動市民中心 (CINGA・シンガ) http://www.cinga.or.jp

ふゆ 冬のつどい in 北海道 第12回 国際交流冬のつどい

札幌雪まつり、白老アイヌ民族博物館見学、スキーまたはそり体験、わかさぎ釣り体験、地元大学生

とのアイスブレーキング・函館散策・交流会、雪体験（かまくら作り・氷キャンドル作り）他

●宿泊：ホテル、研修施設、ホームステイ

●日時：2月10日～2月15日（5泊6日）

●場所：札幌～函館

●定員：70名

●参加費：フリープラン 51,000円 羽田プラン 80,000円

●申込締切り：先着順（最終締切り）2015年1月7日（水）

※詳細はWEBサイトにてご確認下さい <http://www.hif.or.jp>

●主催・問合せ：一般財団法人 北海道国際交流センター ☎ 0138-22-0770 E-mail: tudoi@hif.or.jp

MEMBERS

〈会費とご寄附の報告〉

2014年8月

特別会員

(3口)

(一財) 海外産業人材育成協会
足立区

(1口)

今西 淳子 文京区
(株) シーボン 港区
株式会社 InfoDeliver 港区

賛助会員

村田弘司 近江八幡市
昭和西川(株) 中央区
服部 泰子 豊田市
小関 昭次 中央区

正会員

竹林 惟允 練馬区
井上 美和子 文京区
小倉 美恵子 川崎市

宮原 彬 富士見市
堀内 智代子 国分寺市
関川 弘司/郁子 千葉市
豊島 由久 所沢市
浜崎 長寿/和子 堺市
竹田 繁 南陽市
代田 泰彦/ますよ 所沢市
廣瀬 園子 川崎市
大和 正國 鶴ヶ島市

ご寄附

竹林 惟允 練馬区
中曽根 信 中標津町
酒井 杏郎 渋谷区

2014年9月

特別会員

(5口)

(株) スリーエーネットワーク
千代田区

(1口)

立命館アジア太平洋大学
別府市

賛助会員

雅留宮 久麿/澄子 野田市
東洋パーツ(株) 秩父郡長瀬町
亜細亜大学 武蔵野市

正会員

浜田 洋子 豊島区
DR. HENG FU CHONG

ドイツ

増井 潤一郎 中野区
鶴田 純一/由美 千葉市
寺尾 方孝/三枝子 国分寺市
(株) 東京教育公論 渋谷区
稲澤 宏一 新宿区

ご寄附

鶴田 純一/由美 千葉市
宮崎 悦子 金沢市
近藤 清子 秩父市

皆様の暖かい御支援に感謝申し上げます

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人ですので、財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

協会のあらまし

名称：公益財団法人アジア学生文化協会
ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 小木曾 友

設立：1957年(昭和32年)9月18日
故穂積五一氏創設

目的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的和合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

◇主な事業◇

- (1) 留学生宿舍の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営(進学希望者向けの日本語を中心とする教育)
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

◇会費(年額)◇

正会員 1口 1万円
賛助会員 1口 5万円
特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円(学生2千円)でお送りしています。

当財団に対する寄附金は、所得税、一部自治体の個人住民税、相続税、及び法人税の税制上の優遇措置があります。

本誌で広告してみませんか。

団体・企業を問わず、編集部へご相談ください。

おかげさまで、当財団は2014年4月1日に公益財団法人に移行しました。これまでご支援いただきました皆様には大変ご迷惑をおかけしておりましたが、これにより会費並びに寄附金は税制上の優遇措置の対象となります。今後とも、皆様のご支援の下、これまでと同様留学生宿舍の運営、留学生への情報提供、同窓会活動等の活動を通じ、アジアの青年の育成と友好親善のために微力を尽くす所存です。引き続き皆様のご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

後記

現在はITの発達で過去には考えられないいろいろなことが容易に実現する時代である。しかし天災の予知はまだ容易ではないようだ。いまだ天災は突然襲ってくる。2011年3月11日、16時46分、突然、東北地方太平洋沖地震が発生し(日本周辺では観測史上最大の地震)、2万人近い死者・行方不明者を出している。その後、東京直下型地震の予測、南海トラフのプレート境界沿いで発生する巨大地震の予測、また日本全国の火山噴火予測等々日本を取り囲む自然災害の可能性は枚挙にいとまない。そして、2014年9月27日(土)午前11時52分、突如噴火した長野県-岐阜県境に位置する霊峰・御嶽山。山頂付近で巻き込まれた犠牲者は死者57名、行方不明者7名に上る。この噴火が仮に真冬であったら…、これほど多くの犠牲者はでなかっただろうが、折しも土曜日の昼時、標高3,067mの御嶽山は紅葉が美しい時期でたくさんの登山客が各地から集まり、頂上付近では美しい湯釜を眺めながら昼飯をとっていた人や写真を撮っていた人がたくさんいたと言う。まさに突然の噴火で、亡くなられた方々の多くが噴石に当たったのことに聞く。天災でも生死は紙一重。まだまだ事前の予測で回避できる自然災害の確率は高くはないのが現状だ。海外からの留学生をたくさん抱える当財団も日本の自然災害には決して無関心ではられない。防災教育、防災訓練はいざという時のいささかの助けにはなるとの自戒を持って、行わなければならない。 (F)

アジアの友 2014年10-11月号

2014年10月20日発行(通刊第511号)

年間購読(送料共)3,000円(学生2,000円) 1部 500円(税込)

発行人 小木曾 友
編集 アジアの友編集部
発行所 公益財団法人 アジア学生文化協会
東京都文京区本駒込2-12-13 (☎113-8642)
電話番号：03-3946-4121 ファクシミリ：03-3946-7599
振替口座：00150-0-56754 E-mail: tomo@abk.or.jp
ホームページ：(http://www.abk.or.jp/)

published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASIA BUNKA KAIKAN)
2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN
☎+81-3-3946-4121 ☎+81-3-3946-7599
Email: tomo@abk.or.jp
Home Page: http://www.abk.or.jp/

「アジアの友」の購読会員(年3,000円・学生2,000)にご入会下さい。振替用紙又は電話等にて。

私費外国人留学生のための 大学入学案内

2015年度版 好評発売中！



編集・発行 公益財団法人 アジア学生文化協会 発売 株式会社 凡人社
定価 本体 2,300 円＋税